

令和6年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	雲仙市立千々石第二小学校	作成者	職名	教頭
電話番号	0957-37-2058		氏名	中尾 健史
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）				
4月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 飲酒運転根絶宣誓書作成（全職員による署名） <input type="checkbox"/> わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシート実施		
<u>取組の評価・改善点</u> 年度当初に、飲酒運転根絶宣誓書について内容を確認するとともに、全職員が署名、職員室に掲示することで飲酒運転防止への意識を高めることができた。また、「もしも交通事故を起こしたら（千二小マニュアル）R6～」を全職員に配付することで、交通事故を起こした場合の適切冷静な対応について、共通理解を図ることができた。 4月に、わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシートを実施することで、わいせつ行為防止、セクシャルハラスメント防止への意識を高めることができた。				
7月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 飲酒運転防止への意識の向上 <input type="checkbox"/> 体罰・不適切な指導の根絶のための職員研修の実施 <input type="checkbox"/> 公金の適正処理の意識向上		
<u>取組の評価・改善点</u> 飲酒運転防止・体罰防止・公金等の取扱いについて、セルフチェックシートを用いて振り返りをし、職員一人一人が特に気を付けたいことを伝え合うことで、飲酒運転防止・体罰防止・公金を適切に処理することへの意識が向上した。また、飲酒運転根絶宣誓書・もしも交通事故を起こしたら（千二小マニュアル）R6～」を再度確認することで飲酒運転防止や事故を起こした場合の冷静な対応の意識の一層の向上を図ることができた。				
12月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 交通事故防止・飲酒運転防止への一層の意識の向上 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティへの意識の高揚 <input type="checkbox"/> 体罰・不適切な指導の根絶の意識の徹底		
<u>取組の評価・改善点</u> 交通事故・飲酒運転防止について、雲仙警察署からの講師招聘研修を行うことで、飲酒運転事故の及ぼす影響について理解を深め、飲酒運転防止・交通事故防止へ強い意識をもつことができた。 情報セキュリティ、体罰・不適切な指導についてセルフチェックシートを用いて振り返りをし、特に気を付けたいことを決めることで、情報セキュリティ、体罰・不適切な指導防止について、一層の意識向上が図れた。				
2 服務規律委員会				
委員会名	服務規律委員会			
構成員	所属内委員（3名）、外部委員（8名 役職等：学校支援員）			

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	キ	ケ						
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。